

基本情報

科目分類	総合教養科目	開講年次	1・2・3・4年
時間割コード	4U105	開講区分	第4クォーター
開講科目名	E S D生涯学習論B	曜日・時限	月5
主担当教員	松岡 広路	単位数	1.0
授業形態	講義	ナンバリングコード	U1BB100

[担当教員一覧](#)**詳細情報**

<p>■授業のテーマ</p> <p>(ESDコース修了認定科目) (学芸員・社会教育主事資格科目)</p> <p>ESDとは、あらゆる人が互いに連携・協働しながら持続可能な開発を実現する主体になるような仕組み（場・装置・活動）のことです。 ESDコースでは、さまざまな社会セクターのなかでESDが立ち現れる仕掛けを作っていく「新しいタイプのリーダー」を育成します。</p>
<p>■授業の到達目標</p> <p>ESD生涯学習論Bでは、ESD生涯学習論Aをふまえて、ESDと生涯学習の関係を肌で感じ取り、ESDを生み出す生涯学習支援方策への理解を深めてください。</p> <p>ESDコースの他の科目とともに履修してもらうことで、ESDが立ち現れる仕掛けをつくる実践者（practitioner）としての「構え」（ESDに必要な価値・態度・技術）を、いったん身につけることを目的としています。</p>
<p>■授業の概要と計画</p> <p>多様な学生間の交流のなかでESDとしての意味を探る。 遠隔授業（Zoom）中心 （コロナウィルス感染等の状況によって変更有）</p> <p>【授業の進め方（予定）】</p> <p>1回 12/6 ESDと生涯学習支援 2回 12/13 フィールドから立ち現れる学び 3回 12/20 1・2回の授業をふまえて 4回 12/27 奥深い対話～人と人のあいだ 5回 1/17 ESDの可能性<鼎談> ～対話・交流・プラットフォーム そして、アクションリサーチ 6回 1/24 4・5回の授業を踏まえて 7/8回 1/31（17:00～19:00）リフレクション ※リフレクションは17:00～19:00の2時間で行います。</p>
<p>■成績評価方法</p> <p>授業への出席状況（50%）、レポート（50%）を総合化して判断します。</p>
<p>■成績評価基準</p>

実践への関与度、ESDの実践課題についての理解度を観点に、90点以上をS（秀）、80点以上90点未満をA（優）、70点以上80点未満をB（良）、60点以上70点未満をC（可）とします。

■履修上の注意（関連科目情報）

ESD論A（3Q）またはESD生涯学習論A（3Q）のいずれかを履修することが望ましい。

また、ESDコースの基礎科目群の「ESD基礎（2Q）」または「ESDボランティア論（2Q）」を履修していることが望ましい。

■事前・事後学修

授業回によって異なるグループでの話し合いを行う。各授業後のリフレクションミニレポートとして感想や意見をまとめること。

■学生へのメッセージ

ESDに関連する科目を履修して、ESDコース修了認定を目指してみよう。
ESDコースについては、人間発達環境学研究科のホームページを参照してください。
<http://www.h.kobe-u.ac.jp/ja/lecture/b-esd>

■教科書

特に指定しないが、生涯学習やESDに関連する書籍は多く出版されているので、各自で読んでみてください。主体的な学びの姿勢を求めます。

■参考書・参考資料等

授業中に指示します。

■授業における使用言語

日本語

■キーワード

フィールドワーク 体験学習 ESD 持続可能な開発 生涯教育

■参考URL

<http://www.h.kobe-u.ac.jp/ja/lecture/b-esd>
<http://esd-tourprogram.org/esd/events/>

担当教員一覧

教員	所属
松岡 広路	人間発達環境学研究科
清野 未恵子	人間発達環境学研究科